

2023 ~ 2024 年度国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

● 会長 中島 祐爾
● 幹事 緒方 公一

🌀 No.1841 令和 05 年 11 月 29 日 第 18 回例会



世界に希望を生み出そう

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



■ 点鐘

■ 国歌斉唱「君が代」

■ ロータリーソング「奉仕の理想」 (ソングリーダー 古田哲朗)

■ 来訪者紹介 (会長 中島祐爾)

卓話者 松村尚美 様
弁護士・熊本少年友の会会員
(職親の会事務局)



卓話社紹介 (古田哲朗)

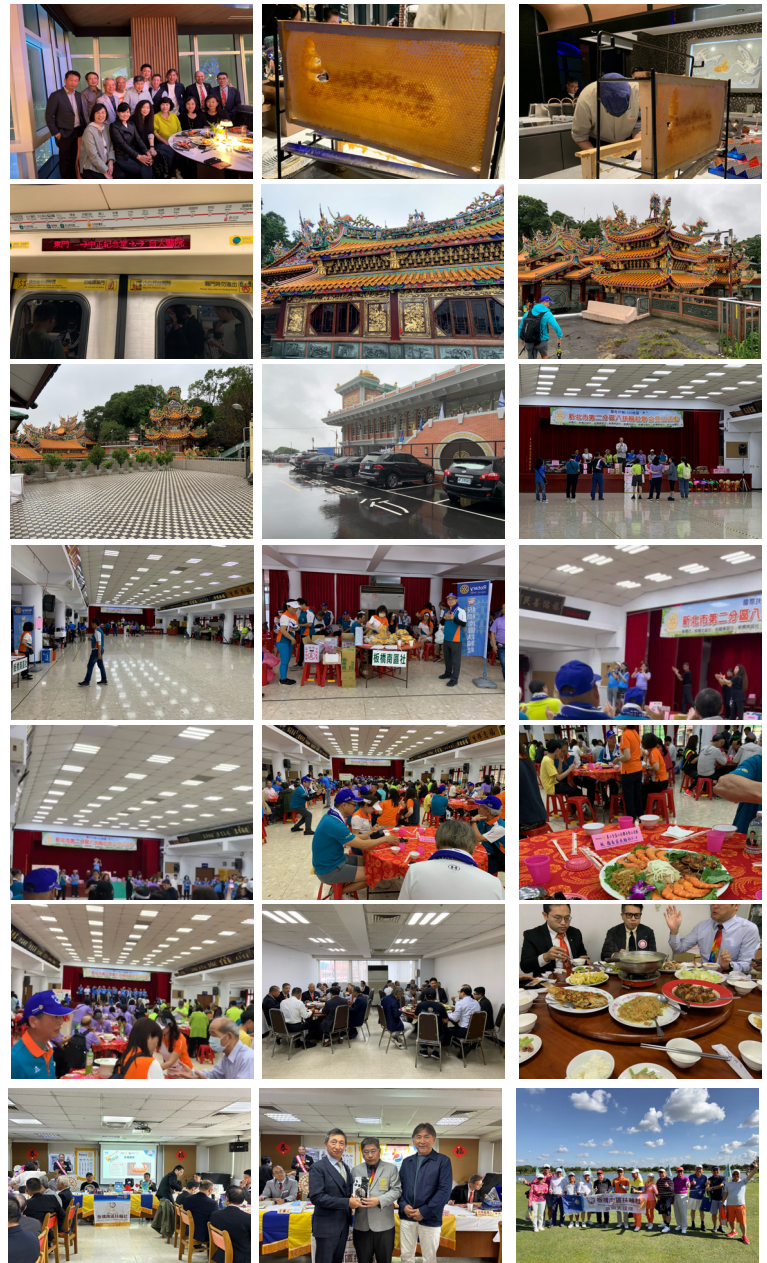
■ 会長の時間 (会長 中島祐爾)



台湾 板橋南区 RC 例会参加

11/11 桃園空港へ マークユー会長
迎え市内観光
101 の 86 階レストランで
歓迎食事です

- 11月12日 8クラブ合同山登り&レクレーション参加
ミシュラン一ツ星レストラン食事です
- 11月13日 九份観光 士林夜市 食事
- 11月14日 板橋南区 RC 例会参加 帰国



元立昇 Alex 新北市政府秘書室	吳贊吉 Andy 新北市政府秘書室	吳宗憲 Archie 新北市政府秘書室	簡榮坤 Gary 新北市政府秘書室	林政豪 Howard 新北市政府秘書室	官彦均 I-Guard 新北市政府秘書室
陳世通 David 新北市政府秘書室	邱淦璋 Brian 新北市政府秘書室	鄭明銓 Bruce 新北市政府秘書室	張添美 Insurance 新北市政府秘書室	王文杰 Jack 新北市政府秘書室	陳金鐘 James 新北市政府秘書室
葉德發 C.F.A. 新北市政府秘書室	賴明福 C.F.A. 新北市政府秘書室	吳俊德 David 新北市政府秘書室	張育榮 Ji-Ly 新北市政府秘書室	巫忠勇 Joe 新北市政府秘書室	林繼輝 John 新北市政府秘書室
吳輝平 Eric 新北市政府秘書室	林正照 F.A.S. 新北市政府秘書室	邱慶宗 Fan 新北市政府秘書室	陳浚宏 Jun 新北市政府秘書室	周啟文 Jack 新北市政府秘書室	黃國旺 Label 新北市政府秘書室



■幹事報告 (幹事 緒方公一)

■来信案内

1) 国際ロータリー第2720地区世界ポリオデー in 熊本実行委員会より、収支報告。

2) 西宮恵美寿RCより、映画「にしきたショパン」(2024年1月12日よりDenkikanにて公開)と「コンサート」(2024年1月12日、日本福音ルーテル健軍協会)の案内。

■ロータリー情報の時間 (ロータリー情報担当委員 松本繁)

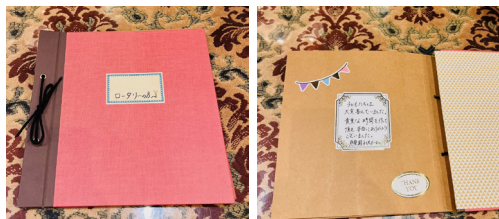
前回、私のロータリー情報では、私は現在、自分では幸せだと思っている。[会社は創業以来144年存続でき、11年前、長男(6代目社長)にバトンタッチでき、7代目社長候補の孫も、2年前に入社し、まずまず経営も安定している。また、私たち夫婦も今年結婚55周年、まあまあ仲良く、元気に二人そろって喜寿を迎えることが出来たこと] 私が、現在、このように幸せと感じているのも、ロータリーのおかげだといっても過言ではない。

もし、あなたにとってロータリーとはと問われたら、私、松本にとってのロータリーは「人生の師」であり、「経営の師」であると答えたいと思う。前回このようなお話をしました。

そこで、次回からの私のロータリー情報担当の際は、35年8か月のロータリー歴で、私がロータリーで学んだこと(ロータリー活動で、ロータリーに関する書物で、先輩の教唆で)、その学んだことを、自分の人生で、また経営で、いかに実践してきたかなどについて、お話ししたいと思います。どうか寛容の精神をもってお聞きいただければ幸いです。

■委員会報告 (社会奉仕担当 宮川義行)

- 本日の社会奉仕卓話、熊本少年友の会 松村様宜しくお願いたします。
- 慈愛園より、テーブルマナーのお礼の文集を預かりました。回覧しますので皆さんご覧ください。



■委員会報告 (青少年奉仕担当 杉本整哉)

11月25・26日にRACの第39回地区年次大会が開催されました。初日の午前中に会長・幹事会が行われ、その場で宮田会員が正式に地区代表エレクトに任命されたと報告を受けました。また、膳所ガバナーがRACに対してもガバナー公式訪問を行うと仰っていたそうです。大会では、堀川パストガバナーの講演があり、その後、アクトの皆さんは9班に分かれて熊本城を見学されていました。2日目は、前日の熊本城見学について各班が意見を述べていました。台湾からも地区代表を含め3名の方が参加されていました。年次大会をみていますと、地区でのまとまりがあり、台湾との交流も確実に進んでいて良い状態ではないかと感じました。



■委員会報告 (ロータリー財団委員 彌富照皇)

- 「世界ポリオデー×子どもたちにクラシック音楽」は11月13日に開催されました。熊本東南RCの募金箱をお借りして募金活動を行いました。128,791円の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。
- 板橋南區RCとのグローバル補助金は以下の通りに変更いたしましたので報告いたします。
熊本東南RC 現金拠出金：6,750ドル→3,150ドル
RI第2720地区 DDF：3,000ドル→5,000ドル
* * *
板橋南區RC 現金拠出金：17,650ドル
その他の協力クラブ：8,000ドル
RI第3490地区 DDF：4,000ドル



■出席報告 (出席・プログラム担当 松田和成)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
11月08日	43 (免3) 40	26	5	31	77.50
11月15日	43 (免3) 40	28	5	33	82.50
11月29日	43 (免3) 40	26 Zoom 2			65.00

- ☆出席免除
11月08日～11月29日
住江正治 島村徹男 志賀重人
- ☆欠席者

- 11月08日(9名)
川崎直樹、松尾 浩、松本将潔、西田智史、小野川善久、渡邊俊一郎、山本浩之、山坂哲生、矢野敬之
- 11月15日(7名)
井村宣敏、川崎直樹、前田昭博、緒方公一、山本浩之、山坂哲生、矢野敬之



■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 生駒ちあき)



◎古田哲朗 10,000円
松村尚美先生の卓話、楽しみにしています。先日、会長幹事取り切りゴルフお世話になりました。償金の一部をスマイルします。



◎白木誠一 10,000円
誕生祝いありがとうございました。



◎宮川義行 4,000円
本日は松村様、卓話楽しみにしています。宜しくお願ひします。
11月25日のアクト年次大会に彌富会員、杉本会員と参加しました。台湾をはじめ、福岡、宮崎、四国からも参加。彌富会員が台湾アクト代表の李さんの通訳をされました。18日行われた米山奨学生とカウンセラーの発表会で出会った3名の奨学生も通訳を手伝っていました。台湾アクトとの交流も深まり、大分・熊本のアクトも若返り、パワーアップしてきました。皆さん応援よろしくお願ひします。



◎山田也 3,000円
松村尚美ちゃん、卓話よろしくお願ひします。楽しみにしています。



■卓話

卓話者紹介 (古田哲朗 会員)

弁護士・熊本少年友の会会員 (職親の会事務局) 松村尚美 様

「熊本少年友の会について」



1 少年友の会とは

熊本は平成10年設立。全国に存在する。熊本家庭裁判所内に事務局をもつ民間ボランティア団体。少年の更生を手助けすることを活動目的とする。

2 職親の会とは

平成16年に、一人の弁護士が、非行少年に職を与えてくれる方々をまとめて一覧表にしたのが始まり。最初は、10社程度だった。平成24年に、熊本少年友の会の一部局として、正式に発足。現在は、40社を超える。職親からの紹介や、少年を引き取って下さる会社に入会してもらう等して増加。各地にあること、様々な職種があることが必要。

令和5年、職親の会者等の映像をDVD化して、鑑別所等に配布した。

3 職親の意義

少年院ではなく、社会内更正の機会を少年に与える。少年に居場所を与えて、安心感をあたえる。仕事をする事で、自己評価を高めさせる。
→再非行をとめる。納税者に育てる。

4 職親にやってもらっていること

仕事の提供 (給料も通常通りに支払っていただく)。場合により、住まいの提供 (社員用のアパートに住まわせてもらう)。逃げ出したり、夜中遊んで補導されたりした少年の引き取り。親への対応 (親の不安や不満への対応)。別の仕事への仲介。

5 そこまでやる理由はなにか?

少年達は変化します。そこが、やりがいです! 以上

会則(抄)

第2条(目的)

本会は、非行を犯してしまった少年等の更生並びに家庭の平和維持を目的とし、この目的を達成するため熊本家庭裁判所及び行う家庭の平和維持、少年の健全育成、再犯防止に努めるものとする。

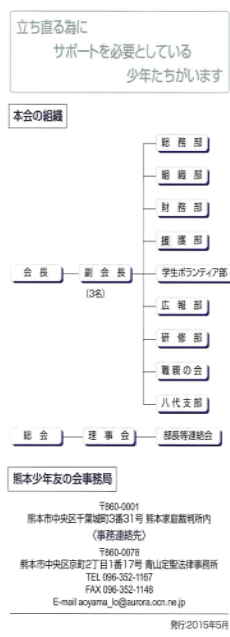
第3条(事業)

- 本会は、若者の育成を図るために次に事業を行う。
- 1 非行を犯してしまった少年等の立ち直りに協力し、援助すること。
 - 2 補導委託先の充実、強化と委託少年の更生福祉に協力する事業を行う。
 - 3 非行を犯してしまった少年等に対して付添い活動を行う。
 - 4 家庭、少年の福祉に関する事業
 - 5 その他本会の目的達成のために必要な事業を行う。

会員と会費

本会の活動に参加するには、次に掲げる会員として登録し、会費を納入する。

- (1) 個人会員 (清活動に参加、もしくは会費による財政的援助を希望する個人) 年会費 3000円以上
- (2) 団体会員 (本会の目的に賛同し、財政的支援に参加を希望する団体) 年会費 5000円以上
- (3) 学生会員 (学務指導員等に参加を希望する学生) 会費先払
- (4) 名誉会員 (本会の活動に対して寄与のあった者または学業成績等で学術上の進歩を著した者) 会費先払



家庭に平和を・少年に希望を!

熊本少年友の会のしおり



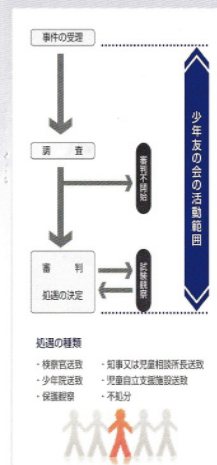
熊本少年友の会 (設立平成10年7月31日)

できる事から始めよう 千里の道も一歩から!

裁判所とは違う「民間の柔らかなサポートが、少年の心を聞きます。」

少年友の会は、家庭裁判所と協力して、非行のあった少年・少女の社会復帰や健全育成を社会福祉的立場から援助しています。

少年審判の流れ



熊本少年友の会は、家庭裁判所内に事務局を持つ民間ボランティア団体で非行を犯してしまった少年の更生のため様々な活動を行います。公的助成はなく、すべてを会員の会費と寄付をもって運営し、少年や保護者、補導委託先などのために下記のような援助を行っています。

少年友の会の主な活動内容

- ◆付添い活動
 - 父母又は身近のいない少年の保護者代わりに少年審判に立ち会う。
 - 少年裁判所で少年と面接する。
 - 処分への意見申出をする。
 - 親子別居を調整し、少年・保護者の心のケアをする。
 - 少年の生活環境を整える。
- ◆就職等援助活動
 - 就職を望む少年に、必要な就職情報を提供したり、相談にのったり、同行するなどの援助活動をする。
- ◆未成年後見活動
 - 虐待や後見人のいない未成年者の後見人になる。
- ◆広報活動
 - 広報誌を発行し、「少年友の会」活動の輪を広げ、少年の健全育成について情報を発信する。
- ◆研修活動
 - 付添い活動の研修や行われ、少年の立ち直りに貢献できるような研修をする。
- ◆八代支部
 - 少年友の会の活動内容を八代・人吉・水原地区において展開している。
- ◆少年友の会活動へのお誘い
 - 一緒に本会の活動を進めてくださる方や、少年の補導・職業指導等について、ご協力いただける方をお待ちしております。
 - 善悪のご寄付もお待ちしております。
- ◆社会奉仕活動
 - 社会福祉施設で年次活動する少年につきそふ。
 - 公営施設の清掃、美化少年・保護者・学生ボランティアとともに行う。
 - 使用済み鉛筆の廃棄を少年・保護者・学生ボランティアとともに行う。
- ◆委託先や少年への援助
 - 親類の熊本家である「補導委託先」の委託先をとり、委託された少年に日用品や必要な物等をつくり、贈呈することの機会の創成をする。
- ◆学生ボランティア活動
 - 学芸部、友達部を創成する。
 - 美化活動、OP研修等ボランティア活動に参加する。

■点鐘

編集 松尾 浩

使わないおむつと地域の課題がマッチング

投稿日：8月14日, 2023 投稿者：Rotary Japan

寄稿者：西森やよい（高知東ロータリークラブ会員）

「高知おむつバンク」とは、「子どものおむつ離れによって余った未開封の紙おむつを地元の乳児院である高知聖園ベビーホームに寄付した」というロータリアンの経験から発案されたシステムです。

ああ、これは私だけの問題じゃないな



おむつを寄贈する西森さん（左）

2016年のある時、自宅のクローゼットの中に、未開封のおむつがあるのを発見しました。購入したまま、しまい込んで忘れてしまった

のだと思います。当時、私の息子は幼稚園の年長でおむつは既に卒業していたため、わが家にとっては全く不要のものとなりました。そこで、親交のあった中島香織弁護士を通して、高知聖園ベビーホームへ寄付することに。中島さんは、居場所を見つけれない子どもたちにその場を提供する「みんなのひろっぱ」をつくった人で、後に「高知おむつバンク」の命名をしてくれた人でもあります。

中島弁護士に渡すためにおむつを抱えて通りを歩いていたところ、たまたまママ友が通りかかり、「西森さん、おむつ抱えてどうしたの？」と声をかけられました。事情を説明すると、そのママ友が「うちにもおむつ余ってる。寄付できるところがあるなら私も持っていこうかな」と言ってくれたのです。それを聞いて「ああ、これは私だけの問題じゃないな」と思いました。

当時、行政からの委託などによって、子育て家庭の支援や見守りを行う団体や事業者は、困窮する保護者から「紙おむつが足りない」「おむつを買うお金がない」というSOSを受けても対応できない、という実情がありました。一方、紙おむつをしまい込んだまま忘れてしまった私やママ友のような人たちもいるわけです。そこでこうした、子育てをする地域の人たちをつなぎ、「余っている紙おむつを集め、支援者を通じて必要としている子どもたちに届けるシステムをつくってはどうか」と考えました。

地区補助金事業としてプロジェクトを立ち上げ

ちょうどその頃、高知東ロータリークラブ（RC）の次年度ロータリー財団委員長を務めるに当たり、どのような活動をするかクラブ内で協議していました。そこで、このおむつの寄付を何か形にできないか、と企画を提示。2017 - 18年度の地区補助金事業として、「高知おむつバンク立ち上げ支援プロジェクト」を実施することになりました。

プロジェクトを進めるにつれ、おむつバンクが地域社会の中でどのような役割を果たすことができるかが、見えてきました。当初、集めたおむつを乳児院で使ってもらおうと思っていましたが、児童家庭支援センターにヒアリングすると、子育て支援先の家庭などに直接配布したいという希望が上がりました。児童家庭支援センターの相談支援員が家庭を訪問する際、手土産としておむつを持参することで、普段は支援員の訪問を拒否したり警戒したりす

る人でもおむつなら受け取ってもらえて、訪問がしやすくなるということです。おむつがなくて困っている家庭に「何か困ったことはない？」と声をかけながら、手と手を介して届けられることに意味があるということが、児童支援の現場から分かりました。おむつを寄付する人とおむつを受け取る人、子育て世代同士で助け合いができる、つながりができる、おむつバンクでそれができると私たちは確信しました。

2017年12月16日、「高知おむつバンクキックオフイベント～シンポジウム『困っている子どもたちについて考えよう』～」を開催。高知おむつバンクの運営事務局を引き受けてくださった高知聖園ベビーホームに対し、高知おむつバンク規約を整え、紙おむつ寄付募集のチラシ、寄付者へのお礼用タオルと共に、最初の紙おむつ1袋を寄贈することで、高知おむつバンクの立ち上げが始まりました。

地域社会で持続される「おむつバンク」

その後、高知聖園ベビーホームは、マルシェを自主開催したり、地域のイベントで「高知おむつバンク」のブースを毎年出展するなどして、粘り強い広報活動を展開しつつ、事業を継続。また、県内の地方公共団体や社会福祉協議会とも連携し、寄付された紙おむつを活用する支援についての認知度を高める活動も続けています。

高知おむつバンクは、「イクハク」という子育て支援サイトから「2020年度高知県ベスト育児制度賞」で表彰されました。22年6月には、おむつなどの衛生用品メーカーのユニ・チャーム（株）が、香川県観音寺市と協働して、子育て支援センターに「つながるおむつボックス・つながるおむつバンク」を設置・運営する実証実験を開始。今年3月に香川県主催の「令和4年度みんな子育て応援団大賞」で香川県知事賞を受賞しました。

このように、ロータリーの取り組みをきっかけに生まれた「高知おむつバンク」は、素晴らしい養育者と多くのご支援に恵まれたことですくすくと成長し、さらなる発展のステージへと導かれつつあります。2018年の当クラブ創立50周年記念式典大会テーマは「未来に育む」でした。当クラブが積み重ねてきた奉仕の理想が、今後も地域に根付いた「おむつバンク」に引き継がれ、さらに多くの方々に育てていただくことを願ってやみません。

（※本稿は『ロータリーの友』2023年7月号に掲載された記事です。）



【寄稿者プロフィール】

西森やよい（にしもり やよい）

高知県在住。検察官を経て2005年弁護士登録。企業法務、民事、家事、刑事等法律実務全般を取り扱う。2007年高知東ロータリークラブ入会。2017-18年度ロータリー財団委員長を経て、2020-21年度クラブ幹事。出産のため出席免除を認められたクラブで初めての会員として、クラブの先輩たちへの敬意を胸に抱きつつ活動を続けている。現在も仕事と育児に奮闘中。

ロータリーボイスより